

出前授業報告

日 時：2023年12月6日（水）10:20～12:40

出 前 先：八尾市立亀井小学校 理科室

受 講 者：八尾市立亀井小学校 5年生（96名）

講 師：鍋島康之先生（明石工業高等専門学校教授）

授業題目：「大地のつくり」

本出前授業は八尾市立亀井小学校からの依頼により、5年生の授業单元である「土地のつくり」の理解を促進させるために実施いたしました。当該出前授業はインフルエンザによる学級閉鎖のため、当初の予定から1クラス減少し、3クラスの児童、96名を対象に実施しました。講師は、明石工業高等専門学校教授 鍋島康之が担当いたしました。

今回の出前授業は40分の短縮授業であったため、かなり圧縮した内容になりましたが、パワーポイントを用いて大地が浸食～運搬～堆積作用を経て造られることを説明し、地層や断層について説明いたしました。また、土と水を入れたペットボトルを用意し、これを振って土をゆっくり沈ませる実験を通じて地層ができる過程を実際に体験してもらいました。受講生の児童は大きな粒子から順番に沈んで地層ができる様子を興味深く観察していました。次に、土質や地質に興味を持ってもらうために地質ハンマーやクリノメーター、アンモナイトや二枚貝の化石を実際に触ってもらいました。さらに、受講者が住んでいる八尾市の明治時代から現在までの変遷や土質状況についての説明を通じて、地質の面白さを実感してもらいました。最後に、ボーリングサンプルの沖積粘土を直接触ってもらいました。受講後に児童から聞いた感想では「地質ハンマーが重かった。」、「化石を初めて触って楽しかった。」、「実際の粘土を触って、柔らかいことがわかった。」など、好意的な意見をたくさんいただきました。

文責 鍋島康之（明石高専）



ペットボトルを使った実験の様子（左）、二枚貝の化石を触る児童の様子（右）